

震度に関する検討会（第5回） 議事概要

1. 日 時 平成21年3月23日（月）14:00～16:50

2. 場 所 虎ノ門パストラル5階「ミモザ」

3. 出席者

翠川座長、青井、大川、桶田、瀬瀬、境、田中、中川、西山、正木、池内、飯島、長尾、増子（代理 渡邊）、安藤（代理 山田）、細見（代理 山際）、牧野（代理 相澤）、井上（代理 桶田）、宇平、横田、熊谷の各委員、気象庁伊藤地震火山部長

4. 検討事項

- （1）計測震度と被害等との関係について
- （2）「震度階級関連解説表」の見直し
- （3）設置条件等の不適切な観測点の点検とその扱い

5. 議事概要

事務局から、「震度階級関連解説表」の見直し関係の議事として、資料1により計測震度と被害等との関係について、資料2により「震度階級関連解説表の見直し」について説明、設置条件等不適切な観測点の点検とその扱い関係の議事として、資料3により設置条件等の不適切な観測点の点検とその扱いについて、資料4により、地方公共団体設置の震度計の具体的な配置基準について説明、各委員にご議論頂いた。

委員頂いたご意見を踏まえ、解説表等の記述を以下のとおり修正することとした。

<資料2 震度階級関連解説表の見直し>

- 地震後に揺れがどの程度であったかを調査する際に用いる調査表の例で、「鉄骨コンクリート」を「鉄骨造」に修正。
- 解説表で、人の体感・行動で、「…人で、…感じる人がいる」という表現を「…人の中には、…感じる人がいる」に修正。
- 人の体感・行動で、「静止している人」を「静かにしている人」に修正。
- 鉄筋コンクリート造建物の状況で、「X印のひび割れ・亀裂」を「X状のひび割れ・亀裂」に修正。
- ライフライン・インフラ等への影響の電話等通信の障害について、災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板は地震以外の災害でも使われることから、「地震災害の発生時」を「災害の発生時」修正。
- ライフライン・インフラ等への影響のエレベーターの停止について、量的な表現である「多い」を削除。
- 「震度と揺れ等の状況（概要）」の震度6弱～7のイラストについて、建物の並びが、左が耐震性が低いもの、右が高いものとなっているが、広報用資料における並び（左が耐

震性が高いもの、右が低いもの）に合わせる。

<資料3 設置条件等の不適切な観測点の点検とその扱い>

Op11の「K-NETの震度観測点」を、「K-NETの観測点のうち震度情報を発表している観測点」に修正。